



古都っ子だより

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》 元気な子 やさしい子 考える子

令和7年4月16日

岡山市立古都小学校



挑戦する ていねいにする 続ける

令和7年度が始まりました。古都小は 201 名の児童と 34名の教職員でスタートしました。今年度も子どもたちの日々の様子や学校の取組を学校ホームページで、また、月1回の「古都っ子だより」を発行し、学校の方針、保護者や地域の皆様へのお願い等をお伝えします。

4月7日の始業式の日に、今年度頑張ってもらいたいこととして「挑戦する」「ていねいにする」「続ける」の3つのことを2～6年生の子どもたちに伝えました。

【挑戦する】

新しい学年で、新しい学習や体験をする機会がいろいろあります。そんな時に「難しそうだから」「できないかもしれない」「楽しくなさそう」「やりたくない」などと思って、やる前からあきらめてしまう人がいるかもしれません。できるかできないか、楽しいかつまらないかは、やってみないと分かりません。やってみると結構楽しい事もたくさんあるはずです。ですから、挑戦できるチャンスが来たときは「はい、喜んで!」という気持ちで思い切って挑戦してほしいです。

【ていねいにする】

勉強でも掃除でも係や当番の活動でも、手を抜いていい加減にしてしまうとよい結果は得られません。いい加減にした事がもとで時にはトラブルになってしまうこともあります。ていねいにすることで、周りの人に感謝されたり、自分の満足できる結果を得られたりすることができます。ていねいにする事で周りの人も自分もハッピーになれるはずです。

【続ける】

勉強でも運動でも習い事でもあいさつでも早寝早起きでもお手伝いでもごみ拾いでも、とにかく何か1つで構いません。自分自身や周りの人のためになりそうなことを続けてみてください。続けることで困難にぶつかった時に乗り越える忍耐力が付きます。また、続けたことは自分の大きな自信になります。

今よりももっと「心豊かでたくましい」古都っ子を目指していきましょう。

令和7年度入学式



4月10日の入学式では、職員や在校生、保護者の皆様、地域の方々に見守られて35名の1年生が元気に入学してきました。

1年生には、「あいさつ」「ありがとう」「あんぜん」の3つの「あ」の話をしました。1年生の児童が、「あいさつ」や「ありがとう」で豊かな人間関係を築き、「あんぜん」に気を付けて、毎日元気に登校できますよう保護者の皆様、地域の皆様にもご協力をよろしくお願いします。

(校長 岡 哲也)